



「農の暮らし」(29)

滞在型ヒーリングビレッジ 魂喜村

こんきむら

2月号の「きっかけは『地球村』」で登場した福井さん夫妻が運営する“訪れた人の魂がワクワク喜ぶ癒しの村”魂喜村を取材しました。(高崎 渉)



沖縄中部の中心街・名護から車で北に20分ほど、豊かな森を抜けて海沿いを走ると、今帰仁村(なきじんそん)の高台に位置する魂喜村に到着します。

ここに一步足を踏み入れると、ヒーリングビレッジの名前の通り癒しの空間となっており、眼下には沖縄の中でもひと際美しいまっ青な海が広がっています。道がわからなくなって魂喜村に迷い込んだカップルがここを一目で気に入ってしまい、今年の10月に結婚式を挙げる予定です。それもそのはず、なんと、魂喜村は国立公園の中に家を建てる(!)という今帰仁村で初めての試みによって作られた施設なのです。

村を作るのは出会いとつながり

敷地内の建物はどれも、セルフビルドの家とは思えない完成度の高いものばかりですが、それ



らは様々な人との奇跡的な出会いとつながりの中で、少しずつ充実してきたものです。ひと際眺めの良いWWOOF(※)受入れ用の立派な建物は、鳶職人だった旅人と奇跡的に出会ったことで作ることができました。紀美枝さんいわく、「必要な

時に必要な出会いがあるし、やろうと思ったときが進むとき。そうすれば自ずと良い方へ導びかれるという感覚です」敷地内には有機無農薬の畑があり、魂喜村で出す野菜はここで自給されています。魂喜村には、いつも様々な国籍の人がおり、地球規模でのつながりや助け合いの中で、村は日々成長しています。

※WWOOF(ウーフ)…農業を手伝ってもらい代わりに、住居と食事を提供する相互扶助型農業ボランティアの国際ネットワーク

大人気の体験プログラム

魂喜村は、単なる宿泊施設ではなく、スキューバダイビングやシーカヤック、瞑想会、認定セラピストである聡さんによるヒプノセラピー(催眠療法)など、



福井紀美枝さん

多彩なプログラムを用意しており、様々な非日常的体験をすることができます。自然を素材に遊ぶネイチャーゲームのインストラクターでもある紀美枝さんいわく、「親子でのネイチャーゲームは、特に気づきや発見が多く、身体いっぱい喜びや感動を表現する我子を見てご両親が驚きます。お子さんもご両親が子供のようにはしゃいで遊ぶ姿を見てとても喜んでいきます。そんなお互いの再発見が多いようです」「以前、うちで高木先生の講演会を主催した際に、先生も2回魂喜村に来てくださいました。初めて来られた時はまだ何もなかったのですが、先生は一張羅のスーツで草むらの中にどんどん入って行ってしまっ(笑)とても楽しんでいただけたみたいで嬉しかったです。先生みたいにお忙しい方にこそ、羽を伸ばしに来ていただきたいですね」

自給自“活”しよう！

福井さん夫妻は、ここでの自分たちの取り組みを、「自給自足」ではなく「自給自活」と表現します。現代のお金を中心とした生活は、自分の関知しないところで出来上がったものに囲まれています。ここ魂喜村では、野菜から家まで自分たちで作れるものの多くを自給しています。「自活」には、食や家作りから文化やお金など、生活に関わる全てのものが含まれており、それら一つひとつと意識的・主体的に関わりながら過ごすことで、自分の人生がより楽しく豊かになっていきます。



感じ、楽しみ、その結果、伝わる

福井さん夫妻は心のありかたを大切にしており、おもてなしやプログラムなど様々なものの中にその考えが反映されています。代表の聡さんにその哲学を聞きました。

「沖縄は自然の流れの中で癒されて、考えるより感じる場所。頭で考えてばかりだと損か得かでお金が判断の中心になりがちですが、五感や六



福井聡さん

感を大切に意識していくと命が判断の中心になって、人や自然への感謝やつながりの大切さに気づくんです。私たち人間にも、何百年、何千年も自然と共存しながら生きてきたルールやリズムがあって、それに沿って生きると心地いし上手くいくと考えています。例えば、魚のクマノミは群れの中に一匹だけいる中心的存在のメスが死ぬと、他のオスの中から一匹だけメスに変異するんです。自然界の神秘を感じます。そこには相談や決まりごとはないんですけど、大自然のルールは確実にあって、自ずと役割が決

まってくるのでしょうか。そういった自然のルールを感じる能力は魚や動物だけのものではなくて、人間にも宿っています。そんな感覚的な部分を大切にしながら私たちが毎日楽しく過ごすことが、自然のすばらしさをポジティブに伝え広げていく一番の方法だと考えています」。

自然の豊かさで知られる沖縄でも、すでに90%のサンゴが死滅しており、環境保護が急務の課題となっています。ここ魂喜村の面する海には、かつてイルカがおり、外洋にはクジラも来ていました。もう一度イルカの来る海にすることも、ダイバーでもある福井さん夫妻の夢です。

3. 11と日本の役割

昨年の大震災と原発事故以降、自分たちの暮らし方を見直そうという人たちが多く訪れるようになりました。

今年の3月11日には、そんな仲間たち20人ほどでイベントを開催して、被災地に祈りを捧げました。紀美枝さんに、イベントに対する想いを聞きました。

「3.11以降、日本から世界が変わるのではないかという、私たちの重要な役割を感じています。今、日本ほど世界に対して説得力のある国民はいませんし、世界が日本を見ています。子どもたちが大きくなる頃に、あの悲劇をきっかけとして日本は変わったね。世界は変わったね。そう言えるように、この苦い経験を糧にしなければならない。そのためにも、私たちは、自然のすばらしさと大切さを感じてもらえるこの場所からメッセージを送り続けていきます」。

1日或いは6日間で、心と体を癒して本来の生き方を発見できる様々な癒しプログラムをご用意しています！

こんきむら
滞在型ヒーリングビレッジ 魂喜村

〒905-0403 沖縄県国頭郡今帰仁村
運天 421 (TEL&FAX: 0980-56-1885)

Website: <http://www.konkimura.jp/>

Email: info@konkimura.jp